



2021年4月2日

豊田合成株式会社
豊田合成九州株式会社

豊田合成九州、再エネ電力の利用を拡大

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長:小山享)のグループ会社である豊田合成九州株式会社(本社:福岡県宮若市、社長:宮本康司)は、CO₂削減の一環で、福岡工場の電力をすべて再生可能エネルギー(以下、再エネ)由来に切り替えました。

同社は昨年、佐賀工場全体と福岡工場の一部に再エネ由来の電力を導入[※]していましたが、今回の利用拡大により、同社全体の使用電力の約50%を再エネで賄うとともに、同社の2021年度のCO₂排出量を2019年度比で約6,400トン削減します。

豊田合成グループは長期環境目標(TG2050 環境チャレンジ)において、2050年までにCO₂排出量を極小化することを目指しており、各工場での日常的な省エネ活動に加え、消費電力の少ない生産設備やクリーンエネルギーを活用した発電設備を導入するなどCO₂の削減に取り組んでいます。今後も環境に配慮した事業活動を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※ 豊田合成九州が導入している九州電力の「再エネ ECO プラン」は、CO₂排出量の削減に寄与するとともに、電気料金の一部が水力や地熱発電の充実に活用される。

再エネ化電力の概要

契約会社	九州電力株式会社
契約プラン名	再エネ ECO プラン
購入電力量	年間約 1,858 万 kWh
発電方法	水力発電、地熱発電
導入拠点	豊田合成九州(株) 福岡工場(本社)、佐賀工場
CO ₂ 削減量(2021年度)	年間約 6,400 トン(2019年度比)

豊田合成九州の概要

設立	2018年11月
本社所在地	福岡県宮若市倉久 2223-1
資本金	35億円
生産拠点	福岡工場(本社)、北九州工場、佐賀工場
従業員数	632名(2021年3月末時点)

お問い合わせ先：豊田合成(株) 広報室 浅倉、川人 (Tel. 052-400-1452)